

2019年度 IGES 国際生態学センター主催 市民環境フォーラム

(共催：認定NPO法人WE21ジャパン 認定NPO法人ブリッジアジアジャパン)

アジアにおける植林と国際協力

— 何を克服し、何をを目指すのか / 実践事例・SDGsからみた課題と展望 —

日時：2020年1月12日(日) 13:00~16:30

※12:20 開場

会場：千代田区立日比谷図書文化館
日比谷コンベンションホール (大ホール)

参加費：無料 (事前登録制、申し込み先着順)

プログラム：①企画趣旨説明 / 矢ヶ崎朋樹 (IGES 国際生態学センター)

②活動報告

「ラオス・ルアンプラバン県における村落林管理と緑地政策」

ラタナボンゴット ブンチャン (ルアンプラバン県林業セクション)

「フィリピン・ベンゲット州鉱山開発跡地における植樹と被災者生活支援」

園田久美子 (認定NPO法人WE21ジャパン)

「ミャンマー・エーヤワディーデルタにおける小学校マングローブ防風林づくり」

大野 勝弘 (認定NPO法人ブリッジアジアジャパン)

③パネルディスカッション / 上記演者4名

④総評・コメント / 荒木 祐二 (埼玉大学教育学部)

↓ 会場周辺地図

申込方法：①メールまたはファックスにて、下記までご連絡下さい。

お名前、ご連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)をお知らせ下さい。

②当センターのウェブサイトからも直接お申込みいただけます。

<https://jise.jp/jp/2019/11/18/20200112/>

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター (IGES-JISE)

ファックス: 045-472-8810 メール: ecoinfom@jise.jp

電話: 045-548-6270 (お問い合わせ受付: 月~金 9時30分~18時)



開催趣旨：日本は世界有数の森林国として知られており、国土面積(3,780万ha)のうち約3分の2が森林となっている。日本には豊かな森林が広がっているが、実際、日本人の生活を支える森林資源の多くは海外からやって来る。持続可能な社会の発展を促進するためには、「国と国」、「地域と地域」、「人と人」をつなぐ相互理解と友好に基づく多様な関係者間の資源循環を通じて、日本が共生システムの社会的実装を積極的に推進していくことが不可欠である。本フォーラムでは、日本・アジアの人々の生活と森林との関係をふり返りながら、多様な関係者(マルチステークホルダー)と協力して推進された海外植林活動の実例に焦点をあて、生態学および社会的問題の側面から、それらの活動が克服しようとしていること、未来に向けて目指していることへの理解を深めていきたい。さらには、2015年9月国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、多国・民間で行われる植林と国際協力による実践活動の重要性に関して議論を深めたい。